

“国内・地方都市の不動産投資市場がテーマ”

『不動産ファンドフォーラム2023を開催』

アセットブレイクインス仙台ネットワーク

全国の地価動向は景気が緩やかに回復している中、住宅地・商業地ともに上昇傾向が継続し、Jリート市場は7月時点で上場60社、資産規模約22・4兆円(資産件数4640件)となり、緩やかな回復傾向にある。また、国内不動産投資市場は海外の急激な金利上昇や日銀のイールドカーブ・コントロール修正等が生じた後でも、大きな混乱は見られず総じて安定性を堅持している。投資意欲は旺盛で市況好調だが、反転・悪化の警戒すべき予兆も見え始めている。

このような状況の中、資産活用をサポートするコンサルティング活動を行っているアセットブレイクインス仙台ネットワーク

インス仙台ネットワーク(事務局・仙台市泉区上谷刈1の7の35 佐々木正之事務局長)は、11月22日の13時30分から17時まで、仙台市青葉区本町の仙台商工会議所で

国内・地方都市の不動産投資市場がテーマ

11月22日(水) 仙台商工会議所

本紙など後援 不動産ファンドフォーラムを開催

「不動産ファンドフォーラム2023」インス仙台「地方都市における地方創生セミナー」を開催(参加費無料)し、国内の不動産投資市場の現状分析と地方不動産マーケットの実態について専門家が講演を行う。建設

新聞社や一般社団法人・不動産証券化協会、一般財団法人・日本不動産研究所などが後援する。会場参加の定員は100人(応募者多数の場合抽選)とし、動画視聴

は抽選)とし、動画視聴

希望者(100人予定)には後日、パスワードを発行し動画配信する予定。セミナーは2部構成で、冒頭、アセットブレイクインスの佐々木事務局長が、「仙台・東北圏の最新事業用・投資用不動産事情2023・秋」とし

て、様子見の状況の反面、投資意欲は衰えていない仙台圏の事業用不動産マーケットを総括する。

第1部では日本不動産研究所東北支社兼証券化部専門役で不動産鑑定士の千田典信氏が「地方不動産マーケットの最新動

向と不動産投資家調査の結果分析」と題して、地方主要都市の不動産市場の実態とアセットタイプの期待利回りの変化について解説する。

第2部では、「日本の不動産投資市場の現状と今後の動向について」として、不動産証券化協会フェローの田邊信之氏が経営環境の変貌下における不動産投資市場の現状と地方都市での不動産証券化の可能性に関して説明する。

セミナーへの参加希望者は、会場参加か動画視聴を選択した上、申込書に必要事項を記入し、FAXかメールにて申し込む。申込書は同ネットワークのHP (http://www.asset-h.net/) からダウンロードできる。

①FAX 022-374-4569 ②Eメール asset-h@caonone.net ③問い合わせは、アセットブレイクインス仙台ネットワーク事務局 ☎022-773-6685。